

日本共産党の渡部和子です。請願13号「選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書提出」について、総務市民委員会では、全会一致での採択とはなりませんでした。全議員の賛同を求めて討論を行います。

毎年、新たに結婚する約50万組の夫婦のいずれかは、それまで使ってきた姓を改めています。夫婦の95%で女性が名前を変えています。その中には、希望しないのに様々な事情からやむなく改姓を受け入れる人、改姓により仕事などの社会生活に不便を来している人、また、結婚を望みながら、改姓が制約となり法律上の結婚を断念する人もいます。

総務市民委員会審査の中で、市の職員で結婚後も旧姓を通称として使用している方が40人いるとの答弁がありました。旧姓を通称として使用できる職場や範囲はたしかに広がっていますが、実際には通称使用で解決できない問題はたくさんあります。一人っ子同士の結婚などで、どちらかの姓を継ぐことができないことには変わりありません。複数の姓を表記し、海外でトラブルになった例はたくさんあります。旧姓でのビザや航空券の取得は原則できません。資格や免許の名義、社会保障や年金、法人や役員登記、解決できない問題はたくさんあります。

憲法13条には「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」24条で「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。」こう謳われています。同姓・別姓いずれの夫婦となるかは個人の生き方に関わる問題です。現行法上、夫婦別姓を希望する人は信条に反し夫婦同姓を選択しない限り婚姻できず、婚姻の法的効果も享受できない。このような差別的取扱いは合理的根拠に基づくものとは言えず、憲法第14条の「法の下での平等」にも反するものです。

経団連は6月10日、「夫、妻それぞれが希望すれば、生まれ持った姓を戸籍上の姓として名乗ることのできる制度の早期実現を求める。選択肢のある社会の実現に向けて、法案を一刻も早く国会に提出し、ダイバーシティ（多様性）政策の一丁目一番地として、国会で建設的な議論が行われることを期待する。」と、国に要望しました。

日本政府はこれまで3度にわたり、国連の女性差別撤廃委員会から「結婚に際して旧姓を維持することを選択できるよう」法改正を勧告されています。そのたびに「我が国の家族の在り方に関わるもので、国民の間に様々な意見があることから」「国民的議論を踏まえて慎重に検討する必要がある」と、繰り返し弁明してきました。根底にあるのは、家族はこうあるべきという、家制度に根差した特定の価値観ではないでしょうか。法律で同姓を求めているのは世界で日本だけです。今年の秋に、国連の勧告に対して政府が何を行ってきたか、報告することになっています。選択的夫婦別姓制度の議論を開始し、その実現を求める、今が絶好のチャンスです。

こんにちは、世論調査では、選択的夫婦別姓制度に6割が賛成しており、60歳代以下では7割が賛成しています。

内閣府はこれまで6回、家族の法制に関する世論調査を行っています。令和3年度の調査では「夫婦同姓の制度を維持した方がよい」と、「選択的夫婦別姓の制度を導入した方がよい」が拮抗しました。この調査には自民党国会議員からからも「そもそも設問が非常に分かりにくく、無責任かなと思う。」「旧姓の通称使用についての法制度を設けた方がよいというのは、一体なんだかわからない」こういう声が上がっていました。かつての調査では、賛成派に向けた選択肢は「夫婦が婚姻前の名字を名乗ることができるように法律を改めてもかまわない」だったものが、直近の調査では「選択的夫婦別姓制度を導入したほうがよい」に変わり、わかりにくくなっています。設問の順番も変わりました。対面の調査だったものが、郵送調査に変わり、回答の半数は60代以上の方でした。専門家からは「調査に連続性がなく、結果を比較できない」との指摘が出ています。恣意的な調査はあらためるべきです。

選択的夫婦別姓制度は、結婚を望む人の選択肢を増やすことであり、多様性が尊重される社会、男女共同参画社会の推進につながるものです。夫婦で同じ姓を名乗ることも、別々であることも自由に選べる選択的夫婦別姓こそ、女性が個人の尊厳を傷つけられ、不利益を被っている現実を解決できる唯一の道です。柏市議会としても政府に選択的夫婦別姓制度の法案審議を早期に実現するよう求めていこうではありませんか。すべての議員の請願への賛同を求めて討論とします。